

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

鹿児島県立図書館

平成28年1月15日 発行
第58号（毎月15日発行）
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel : 099-224-9511

ホットニュース

ホットの1 「方言ライブラリー」について

県立図書館では、鹿児島県内各地の方言の保存と利用のための整備を図る目的で、2階閲覧室の一角に「方言ライブラリー」を設けています。

このライブラリーには、方言の収録テープ・CD（167巻）と方言を文字化した方言対訳集（106冊）等を所蔵しています。

収録テープ等には、伝説や昔話などの民話、日常会話、小さい頃の思い出話などを収録しています。また、市町村内の地区ごとの方言の違いなどを聞き比べることができる資料もあります。

どなたでもライブラリーを利用することができますので、2階カウンターにお申し出ください。なお、収録テープ・CD及び対訳集は、全て貸出も行っていきます。



「方言ライブラリー」コーナー

ホットの2 「椋鳩十コーナー」の紹介

椋鳩十（本名：久保田彦穂）氏は、明治38年（1905年）長野県に生まれ、大学を卒業後、鹿児島で生涯を過ごした作家（児童文学者）です。日本で初めて本格的な動物文学のジャンルを切り開いた作家で、『片耳の大シカ』、『マヤの一生』、『カガミジシ』など不朽の名作を数多く残しています。

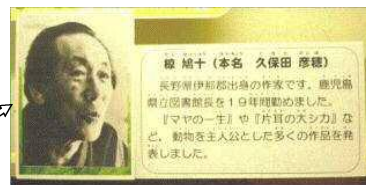
椋氏は、昭和22年（1947年）から約19年間県立図書館長を務め、第二次世界大戦後の県立図書館の再建に尽力されました。さらに、「親子20分読書運動」を全国に広げるなど、図書館活動の推進に大きく貢献されました。

県立図書館では、児童文化室内に「椋鳩十コーナー」を設置し、椋氏の著書や椋鳩十児童文学賞の受賞作品をそろえています。

また、敷地内（自転車置場の左奥）には、椋氏の功績をたたえた「椋鳩十文学碑」が建立されています。



「椋鳩十コーナー」



「椋鳩十コーナー」の表示



「椋鳩十文学碑」



《一般書》1月15日（金）

- 『人を恐れず天を仰いで』 広岡浅子/著 新教出版社
- 『奇跡の猫ピリー』 ルイス・ブース/著 竹書房
- 『ニュートリノで探る宇宙と素粒子』 梶田隆章/著 平凡社
- 『まちの本屋』 田口幹人/著 ポプラ社
- 『新カラマーソフの兄弟』 上・下
 亀山郁夫/著 河出書房新社

《児童書》1月23日（土）

- 『オオカミのはつこい』 きむらゆういち/ぶん 田島征三/え 偕成社
- 『森ねこのふしぎなたね』 間瀬みか/作 植田真/絵 ポプラ社
- 『子犬工場』 大岳美帆/著 WAVE出版
- 『しゅるしゅるぱん』 おおぎやなぎちか/作 古山拓/画 福音館書店
- 『理学療法士の一日』 W I L L ことども知育研究所/編著 保育社

催し物の御案内

○地域の読書活動グループ活性化研修会

1月24日(日) 鹿児島地区(日置市中央公民館)
2月21日(日) 熊本地区(西之表市民会館)

※ 詳細については、職員にお尋ねいただくか、「県図なう。」57号(12月号)を御覧ください。

○児童文化室ミニ展示 1月23日(土)～2月21日(日)

「むかしむかしのお話や
名作を楽しもう！」

昔話や名作を紹介します。



○一般閲覧室ミニ展示 2月3日(水)～3月1日(火)

「ことばの世界を楽しもう！」

日本語に関する本、方言に関する本を紹介します。

おいもきばっで
おまんさあも
きばいやんせ



図書館職員をつぶやき

私たち図書館職員は、利用者の皆様方の素敵な表情や温かい言葉かけに接することがよくあります。

先日、「ふゆいろのおはなしのじかん」に絵本の読み聞かせや紙芝居などを行いました。その後児童文化室で、ある子どもさんが、先ほど読み聞かせをしたばかりの本をまた読み出し、目を輝かせて「お母さん、この本借りたい。」と言っていました。その表情が何とも愛らしく、読み聞かせの喜びを実感しました。

また、現在、図書館は書庫増設工事のため、絵本の書庫が1階から3階に移設されています。利用者の方から絵本の貸出の申し込みがあり、3階まで小走りで取りに行ってお渡ししたところ、「わざわざ遠くまで取りに行ってくれてありがとう。」と声をかけていただき、嬉しくなることもありました。

これからも利用してくださる方々に喜んでいただけるように、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、日々、努力していきたいと思えます。

県立図書館に届いた

『宝本エピソード』

今回紹介していただいた宝本は、キム・フォップス・オーカソン著 エヴァ・エリクソン絵 菱木晃子訳の『おじいちゃんがおばけになったわけ』（あすなろ書房）です。

本屋さんで並んでいた時、書名が目に入り読みたくて買って帰りました。子どもに声に出して読んであげていましたが、だんだん涙があふれて、途中で何回も止まってしまいました。孫を思い気にしながら旅立っていったおじいちゃんの気持ちがあまりにもせつなくて悲しくなります。しかし、おじいちゃんの死を乗り越えてがんばって生きていこうとする家族の心情に共感できる感動のストーリーです。これが我が家の宝本です。



図書館クイズ

『コッケモーモー』
ジュリエット・ダラス＝コンテ／文（徳間書店）からのクイズです。

なきかたをわすれてしまったおんどのおはなしです。

あるひ、メンドリごやをねらってだれかがやってきました。さて、それはだれでしょうか。

ヒント

「こ〇〇〇 こんこん」のうたにも
でてくるどうぶつだよ！



答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、2月14日(日)までにに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「ジョージ」または「じょーじ」でした。たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
1月	10	11	12	13★	14	15◇	16◆
	17	18	19	20★	21	22	23□
	24	25	26	27★	28	29◇	30
	31						
2月		1	2	3★	4	5	6
	7	8	9	10★	11	12◇	13
	14	15	16	17★	18	19	20◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜)：9時～17時

■ は、休館日。

○ は、学習室のみ開室(9時～17時)。

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)。

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)。

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(1月15日、1月29日、2月12日

【予定】)。

□ は、児童文化室新着図書の日(1月23日)。